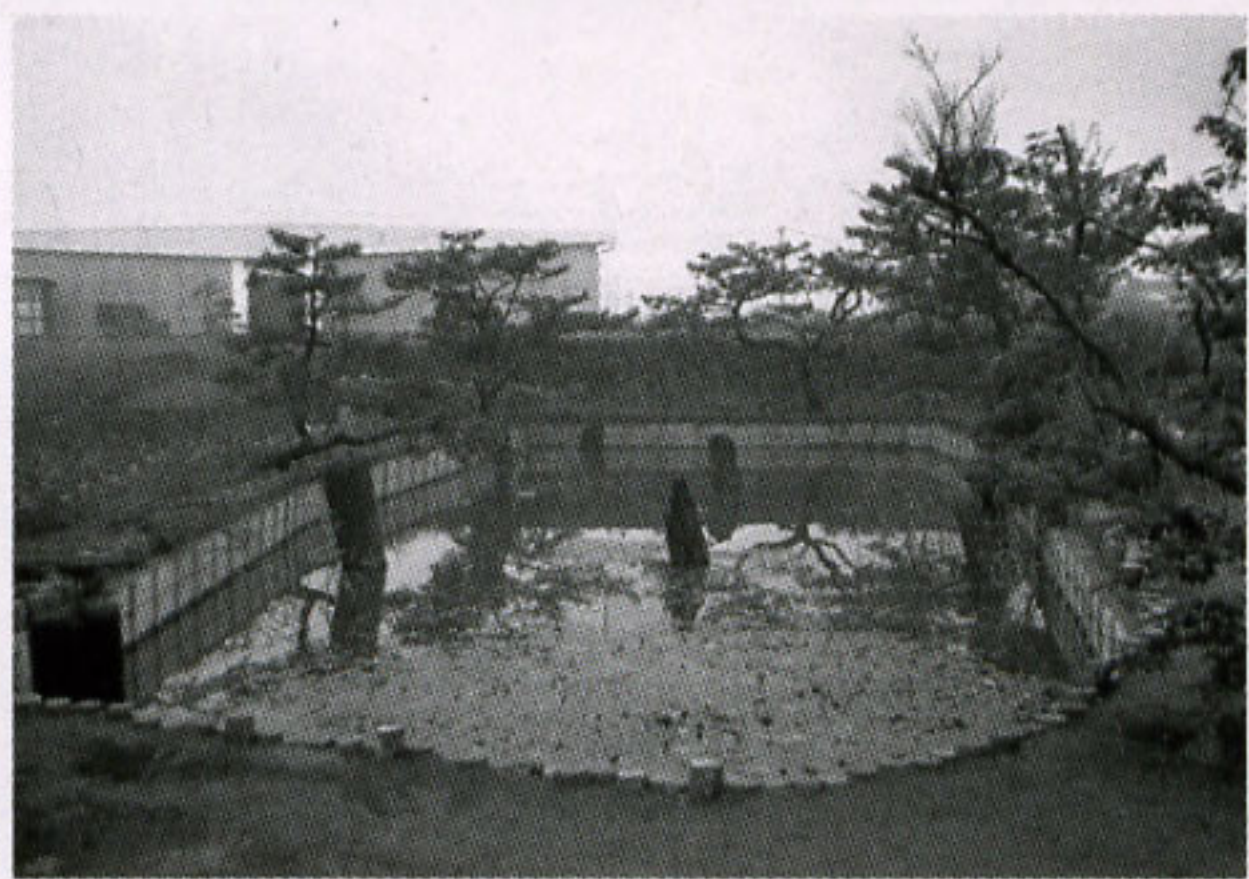




第3次確認調査時全景



旧相模川橋脚

国指定史跡

解説シート2 橋脚編

旧相模川橋脚は、大正12(1923)年9月1日の関東大震災と翌年1月の余震によって

水田に出現した全国的にも珍しい遺跡です。

当時の歴史学者沼田頼輔博士によって、

建久9(1198)年(今から約800年前の鎌倉時代)に

源頼朝の重臣稲毛重成が亡き妻の供養のために架けた橋と考証されました。

発見後間もない大正15(1926)年10月20日には国の史跡に指定されています。

神奈川県茅ヶ崎市